

令和4年8月25日開催定例美祢市教育委員会会議録

開催日時 令和4年8月25日（木）午後2時から午後3時45分

開催場所 美祢市役所3階「委員会室」

出席委員

南 順子	教育長
金子 明美	教育長職務代理者
山田 裕治	委員
山本 亜由美	委員
松本 孝志	委員

5人

出席教育委員会事務局職員

八木下理香子	教育次長
西山 宏史	事務局長兼教育総務課長
渡辺 義征	〃 学校教育課長
野尻 登志枝	〃 生涯学習スポーツ推進課地域活動推進班長
神田 高宏	〃 文化財保護課長兼世界ジオパーク推進課長
藤本 儀昭	〃 学校教育課主幹
倉増 裕	〃 教育総務課総務班長
内山 知憲	〃 生涯学習スポーツ推進課人権教育班長

8人

（午後2時）

開 会

教育次長 八木下 理香子

みなさんこんにちは、ただ今より、令和4年8月の定例教育委員会会議を開催いたします。

これからの進行は教育長よろしくお願いします。

教育長挨拶

教育長 南 順子

改めまして皆さんこんにちは。

本日はご多用の中、また、残暑厳しい中、会議にご出席くださいますありがとうございます。

この度、7月29日より、中本前教育長の後を引き継ぎ、教育長に就任しました南順子と申します。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

微力ではございますが、「人が育つ人が輝く教育の美祢」の実現に向けて、美祢市の子供たちが、生かされていることに感謝し、かけがえのない命を大切にしながら、確かな学力と豊かな心、健やかな体を兼ね備え、たくましくよりよく生きる力を身につけることができますよう、また、市民の皆さんが生涯を通して学び続け、個性を發揮し認め合い、支え合いながら、豊かなつながりを育む地域づくりが出来ますよう、皆様のご協力をいただきながら、努めてまいりたいと思います。

どうぞ、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、今日から美祢市内の小中学校の二学期が開始いたしました。

新型コロナウイルスの感染拡大を警戒しながらのスタートでございますが、ちょうど夏の疲れがしやすい時期ですので、子供たちも先生方も体調管理に十分配慮しながら、一日も早く学校の生活リズムに慣れ、元気に充実した日々を過ごしてほしいと願っております。

教育委員会としましても、学校の課題解決に向けてしっかりサポートし、学校と課題を共有しながら、子供たちが少しでもよりよく変容するよう努めてまいりたいと思います。

教育長として力不足の面を、同席しております教育次長、事務局長、各課の課長、主幹、班長、主査、指導主事、社会教育主事等、大変優秀な職員がしっかり支え、助け、守ってくれているおかげで何とか一ヶ月を過ごすことができました。

本当に感謝・感謝の日々でございます。

さて、本日の会議の進行は、教育長が務めることになっていると伺いました。不慣れではございますが、皆様の御協力をいただきながら進めてまいりたいと思いますので、どうぞ、どうぞよろしくお願いいたします。

署名委員の指名

教育長 南 順子

それでは初めに、署名委員の指名をさせていただきます。

本会議につきましては、山本委員と山田委員をお願いをしたいと思います。よろしいでしょうか。

<両名了承>

教育長 南 順子

どうぞよろしく願いいたします。

前回会議録の承認

続きまして前回の会議録の承認でございます。

金子委員と山本委員にお願いしてよろしいでしょうか。

はい、ありがとうございます。

<両名承認>

教育長 南 順子

よろしく願いいたします。

冒頭報告

教育長 南 順子

それでは、お手元の資料、教育長報告、4番でございますが（1）行事関係を御覧くださいませ。

7月29日に就任してから、本日までの動静が記されております。

多少前後いたしますが報告させていただきます。

7月29日、辞令交付式の後、美祢市議会議長・副議長に就任のご挨拶をしました。

7月30日、秋吉台国際芸術村で開催された「mineto×SFC合宿」の最終発表会に参加し、中高生と大学生が2泊3日の合宿で寝食を共にしながら二つのチームに分かれ、ストンプを通じて楽しく認め合いながら創造した表現を見せていただきました。

ただ、ただ感動の一言でございます。

子ども達の生き活きと輝いている充実した表情から、すばらしい体験だったことがよくわかりました。

美祢市からは二名の中学生が参加し、そのうちの一人が山本委員さんのお子様でしたので、参加したお子さんの保護者の立場から、また、いろいろお話を伺えるとありがたいと思います。

8月1日から、教育次長、又は事務局長と一緒に県の教育委員会教育長、近隣の萩市・長門市・山陽小野田市・宇部市・山口市・下関市の教育委員会教育長に就任のご挨拶に伺いました。

8月4日は、市長、総務企画部長と一緒に県庁に行き、知事や副知事、美祢

市出身の前田産業戦略部長へも就任のご挨拶をいたしました。

美祢市内の就任挨拶につきましては、美祢警察署長に、子供たちの登下校の安全や不審者対策のためパトロールをいただいていることへのお礼と今後も引き続き子供たちが安心安全に登下校が出来るよう協力をお願いするとともに、不審者対応等、学校行事への指導助言もお願いしました。

企業等への就任挨拶は、8月8日から8月10日までの3日間で、UBE三菱セメント、宇部マテリアルズ、宇部サンド工業、NGKエレクトロデバイスの4社に伺い、7月21日に開催されました生涯学習のまちづくり推進協議会で話題になった11月5日・6日に開催されます生涯学習フェスタへの参加協力をお願いしました。

どの企業も従業員は市内よりも市外の方が多いそうです。

だからこそ、もっと美祢市民への認知度を高めたい、そのために出来ることはないか模索をされているようで、フェスタへの参加については、それぞれに快く対応していただき、手応えを感じております。

また、美祢青嶺高校と成進高校にも挨拶に伺い、市長の思いでもあります美祢市以外の生徒でも高校三年間を美祢市で過ごされた方には美祢市で開催される二十歳の集いへ参加していただきたいことを伝え、そのために卒業生への案内を周知していただくようお願いをして参りました。

美祢青嶺高校の校長先生は今年度の着任ですが、美祢市地域連携教育の重点取組として掲げている小中一貫教育の推進プラス高校との連携にも大変意欲的なご様子で、構想図のようなものも作成されているようです。

部活の指導のお願いも好意的に受けとめていただきました。

8月1日には、伊佐小・伊佐中、大嶺小・大嶺中の4校に勤務したALTのコエロ・ノエル先生の離任報告会がありました。

一年間という短い滞在期間でしたが、優れた指導力で、多くの児童生徒に慕われていたそうです。

後任のALTは昨日美祢市に到着し、明日、着任報告会を行う予定でございます。

8月4日に、教頭候補三人、校長候補二人の管理職選考美祢市面接を金子教育長職務代理にもご協力をいただき、課長・主幹と四人で実施しました。

8月4日は県教組、8月8日は県教連との組合交渉を行いました。

二つの交渉とも教職員の勤務条件等の改善が主な要求でしたが、渡辺課長が、現場で変えてほしいこと、市としてすでに校長会を通じて指導し改善をしていること、改善に向けてとりくんでいくことを明確にしながら的確に回答をしてくれました。

特に、校長会等で伝えている事案が周知徹底していないようでしたので、メールで回答結果を小中学校長宛に送付しました。

8月17日に令和4年度第2回の市町教育委員会教育長協議会が厚狭地区複合施設で開催され、課長・主幹、私の三名が出席しました。

令和4年度公立小中学校教職員人事異動の成果と課題について、また、令和5年度公立小中学校教職員の人事異動に向けた要望などについて課長が説明を行いました。

主な課題としては、美祢市は小規模校が多く教職員数が少ないため、人事交流や派遣などの異動が行いにくく、全体として人事が停滞していること、また、中学校においては高齢化が進んでいること、臨時的任用教員や非常勤の人材不足のため、産・育休、病休代替の確保が難しいこと、新任管理職が多く2校目は他市に異動するため、管理職としての経験が本市教育に生かされないこと等。

主な要望としては、県全体で地域格差をなくし、活性化を図るため、広域での人事交流を進めてほしいこと、新採2校目での異動を同一市内で行ってほしいこと、美祢市出身および美祢市ゆかりの教職員の市内への異動をお願いしたいこと等を伝えました。

県からは、学力向上推進リーダーを現在の教頭職から再任用教員を当てること、中心校制度の見直し、指導主事の配置の縮小化、加配については成果がもとめられるので効果的な活用に努めてほしい等の指示伝達がありました。

中村審議監からは、教師にとって授業は命であること、全国学力・学習状況調査の意義を校内で共有し、学力向上の取り組みの方向性を焦点化すると共に、解決に向けて組織で取り組み、成果を数値で示すよう指導を受けました。

8月19日、第2回美祢・山梨子ども交流事業実行委員会が開催され、今年度もオンライン交流で11月27日に実施されることが決定しました。

8月22日、秋吉台保存活用計画説明会が秋吉公民館で行われました。

地域社会総がかりで文化財の保存と活用を目指した平成30年の「文化財保護法」の改正に基づいて、平成29年度から5年の歳月をかけて策定された「特別天然記念物秋吉台保存計画」の概要について説明がありました。

保存と活用の難しいバランスを保ちながら秋吉台を中心に持続可能な地域づくりを目指している市の方針に対して、住民からは地域への説明会の開催要望、遊歩道の整備やたて穴への進入防止柵のメンテナンス等安全対策への要望がございました。

8月23日の人事評価制度説明会は、コロナ感染拡大のため中止となりました。

8月24日に令和4年度、第3回美祢市議会臨時議会が開催され、一般会計補正予算についての審議に、教育次長、事務局長、野尻班長と共に出席しました。

以上が行事関係についての報告でございますが、ご質問がありましたらお願いいたします。

教育長 南 順子

よろしいでしょうか、すみません。

簡略して申し訳ございませんでした。

議題及び議事

教育長 南 順子

それでは続きまして、5の議案の審議に入りたいと思います。

まず、議案第51号、美祢市社会教育委員の委嘱について説明をお願いいたします。

野尻班長。

生涯学習スポーツ推進課地域活動推進班長 野尻 登志枝

はい、それでは議案第51号、美祢市社会教育委員の委嘱について御説明いたします。

議案書1・2ページ、資料も1・2ページになります。

社会教育委員は、社会教育法に基づき、市が設置することができる委員です。

現社会教育委員の任期が令和4年8月31日で任期満了となるため、次期委員の委嘱について、教育委員会の承認を求めるものです。

なお、委員の任期につきましては、条例第3条第2項の規定により、令和4年9月1日から令和6年8月31日となります。

以上です。

教育長 南 順子

では、議案第51号について、質疑などがあれば承りたいと思います。

いいですか。

よろしいですかね。

はい、特にないようですので、議案第51号の質疑は終了させていただきます。

お諮りいたします。

議案第51号、美祢市社会教育委員の委嘱について説明のとおり御承認いただけますでしょうか。

<全員承認>

教育長 南 順子

はい、ありがとうございます。

それでは続いて、議案第52号美祢市生涯学習のまちづくり推進協議会委員の委嘱及び解嘱について説明をお願いいたします。

生涯学習スポーツ推進課地域活動推進班長 野尻 登志枝

はい、それでは議案書 3 ページ、資料 3 ページを御覧ください。

美祢市生涯学習まちづくり推進協議会委員の委嘱及び解嘱についてです。

学識経験者のうち社会教育委員が、令和 4 年 8 月 31 日の任期満了のため、委員の委嘱及び解嘱について、教育委員会の承認を求めるものです。

美祢市生涯学習のまちづくり推進協議会委員は、生涯学習関連団体との連携を図り、生涯学習のまちづくり関連事業の推進及び啓発活動を行っています。

なお、委嘱期間は、要綱第 4 条ただし書の規定により令和 4 年 9 月 1 日から令和 6 年 8 月 31 日までとなります。

以上です。

教育長 南 順子

ありがとうございました。

では、議案第 5 2 号について質疑などがあれば承りたいと思います。

特にないようですので、議案第 5 2 号の質疑は終了させていただきます。

お諮りいたします。

議案第 5 2 号美祢市生涯学習のまちづくり推進協議会委員の委嘱及び解嘱について、説明のとおり御承認いただけますでしょうか。

<全員承認>

教育長 南 順子

はい、ありがとうございました。

それでは続いて、議案第 5 3 号美祢市立図書館あり方検討委員会委員の委嘱及び解嘱について説明をお願いいたします。

生涯学習スポーツ推進課地域活動推進班長 野尻 登志枝

はい、御説明いたします。議案書 4 ページ、資料 4 ページになります。

美祢市立図書館あり方検討委員会は、美祢市立図書館あり方検討委員会設置要綱に規定されたとおり、美祢市立図書館の整備に関し、あり方及び方向性を検討する委員会です。

本委員会は平成 29 年度から本年 7 月まで、通算 13 回開催しており、昨年 11 月に、美祢市立図書館基本構想を取りまとめ、現在、美祢市立図書館基本計画の策定に向けて協議を進めています。

本委員会の委員として、社会教育委員会議議長の中原和昭氏に委嘱をしましたが、中原委員が社会教育委員会議議長の役職を令和 4 年 8 月 31 日に退任されるため、その後任として安田一富氏に新たに委員を委嘱するものです。

任期は要綱第4条ただし書の規定により、前任者の残任期間である令和6年3月31日までとなります。

以上です。

教育長 南 順子

はい、ありがとうございました。

では、議案第53号について、質疑などがあれば承りたいと思います。

特にないようですので、議案第53号の質疑は終了させていただきます。

お諮りいたします。

議案第53号美祢市立図書館あり方検討委員会委員の委嘱及び解嘱について、説明のとおり御承認いただけますでしょうか。

<全員承認>

教育長 南 順子

ありがとうございました。

それでは続いて議案第54号、美祢市立秋吉台科学博物館協議会委員の委嘱及び解嘱について、説明をお願いいたします。

神田課長。

文化財保護課長 神田 高宏

はい、それでは議案第54号、美祢市立秋吉台科学科学博物館協議会委員の委嘱及び解嘱について御説明いたします。

議案書5ページ、資料も5ページとなります。

美祢市立秋吉台科学博物館協議会は、博物館の適正な運営を図るため、博物館法第20条の規定に基づき設置している協議会でございます。

この度、美祢市社会教育委員の委員交代に伴い、委員の解嘱及び委嘱をしたいので、教育委員会の承認を求めるものでございます。

なお、新たな委員の任期は条例第4条第4項の規定により、令和4年9月1日から令和6年3月31日までとするものであります。

以上でございます。

教育長 南 順子

ありがとうございました。

では、議案第54号について、質疑などがあれば承りたいと思います。

それでは特にないようですので、議案第54号の質疑は終了させていただきます。

ます。

お諮りいたします。

議案第54号美祢市立秋吉台科学博物館協議会委員の委嘱及び解嘱について、説明のとおり御承認いただけますでしょうか。

<全員承認>

教育長 南 順子

はい、ありがとうございました。

では、続きまして、議案第55号美祢市立秋吉台科学博物館建設基本構想策定委員会委員の委嘱及び解嘱について、説明をお願いいたします。

はい、神田課長。

文化財保護課長 神田 高宏

はい、議案第55号、美祢市立秋吉台科学博物館建設基本構想策定委員会委員の委嘱及び解嘱について御説明いたします。

議案書6ページ、資料も6ページとなります。

美祢市立秋吉台科学博物館建設基本構想策定委員会は、美祢市立秋吉台科学博物館の建設計画に関し、その基本的事項を審議するため設置した組織です。

この度、美祢市社会教育委員の委員交代に伴い、委員の解嘱及び委嘱をしたいので、教育委員会の承認を求めるものであります。

なお、新たな委員の任期は要綱第4条の規定により、令和4年9月1日から、教育委員会へ報告を行った日までとするものであります。

以上であります。

教育長 南 順子

はい、ありがとうございました。

では、議案第55号について、質疑などがあれば承りたいと思います。

それでは特にないようですので、議案第55号の質疑は終了させていただきます。

お諮りいたします。

議案第55号、美祢市立秋吉台科学博物館建設基本構想策定委員会委員の委嘱及び解嘱について、説明のとおり御承認いただけますでしょうか。

<全員承認>

教育長 南 順子

ありがとうございました。

以上で本日提出しております議案につきましては審議が終わりました。

御覧のように、これまで大変御尽力をいただきました中原先生が解囑をされまして、新たに安田先生が、委員に就かれるということでございます。

どうぞよろしく願いいたします。

協議報告等

教育長 南 順子

それでは、それぞれの所管からの報告に移りたいと思います。

教育次長、お願いいたします。

教育次長 八木下 理香子

資料にはないんですけども、私のほうから1点御案内をさせていただきたいと思います。

今日当日配付資料で、1枚、令和4年度学校魅力化フォーラムと書かれた資料をお配りさせていただいております。

先日来、学校魅力化フォーラムで発表しますというお話をさせていただいたんですけども明日、この学校魅力化フォーラムがオンラインで開催をされます。

美祢市の取組については、ちょうど裏になりますけれども、事例発表4「学園制加配の活用による3小学校合同授業と公設塾mineto」ということで、美東中学校区での3小学校の合同授業の取組と、公設塾minetoの取組について、大田小学校の池田校長と公設塾の潟中塾長と一緒に発表をしたいというふうに考えております。

もしよろしければ、傍聴用のURLもいただいているので、もし、お声がけいただければお渡しすることが出来ますので、後でお声掛けいただけたらと思います。

是非、御覧いただけたらなと思っております。

以上です。

教育長 南 順子

はい、ありがとうございました。

それでは、所管説明ということで始めに、教育総務課からお願いします。

はい、西山事務局長。

教育総務課長 西山 宏史

はい、冒頭の教育長の報告で、昨日開催されました、8月の臨時議会、若干触れられましたけども、今回の臨時議会では補正予算をですね、教育委員会からは項目的には、教育総務が1件、給食費の値上げ抑制の目的としてはですね補正を出しておりましたんで、生涯学習スポーツ推進課からはですね、また2件補正予算の案件出しておるんですが、教育総務についてはこちら資料に書いておりますように、食料品も含めてですね物価が高騰してるということで給食の材料費もですね、実際今年度に入ってみたら、実際には値上がりしてきております。

年度前半ちょっと様子見をしてきたところがあるんですけども、消費者物価指数、山口県を通じて公表された5月の数字が4.5%の上昇率でございました。

その4.5%という上昇率の数字を使いまして、今小学校が1食当たり270円、これが4.5%上昇すると上昇分が12円となります。

それと中学校が1食当たり310円、これが上昇率4.5%分、これの上昇率4.5%分が幾らかというところ14円となります。

今申し上げた12円と14円を直接その保護者負担に結びつけないようにですね、現在のところ学校給食は給食センターごとについていうか給食センターがある学校ごとにですね会計を持ってもらってますので、その会計に対してですね市が材料費抑制をするための財源ということで、今後、支出できるようにですね、昨日の議会で議決をもらったところであります。

小学校分と中学校分の抑制のための給食費アップをしないためですね、市からの支出としてその合計額が212万4千円というところでございます。

財源、財源国庫支出金、102万3千円と書いておりますが、これがすぐ下の行に書いております地方創生臨時交付金という国からの支援メニューであります。

コロナを背景とするですね、物価抑制のために使っていいよという、交付金でございまして、国庫支出金102万3千円っていうのは、今ちょっと行政経営課が割り振っておる数字でですね実際にはですね、もっと高いですね、支援率が得られるものだと思っております。

ちょっと今、102万3千円未確定の数字をですねちょっと記載してしまっておりますけども、もっと高い国庫支援率があると思っております。

教育総務の議会提出案件というか議案については、以上でございます。

教育長 南 順子

それでは今報告が終わりましたが、御質問などありませんでしょうか。

はい、松本委員。

委員 松本 孝志

失礼します。

これは、継続的なものですか、今年度だけですか。

教育長 南 順子

西山事務局長。

教育総務課長 西山 宏史

ありがとうございます。

昨日、議会で想定問答もつくって待ち構えておったんですけどほとんど質問出なかったんですね。

ありがとうございます。

えっとですね、この臨時交付金の制度は、今年度、単年度のメニューなんですけど来年度になったらパタッとですね物価上昇がですねパタッと収まるとはちょっと考えにくい状況であります。

市としましてはですね県を通じてですね、この制度が継続されるようにですね、要望していきたいと考えております。

教育長 南 順子

よろしいでしょうか。

他に今の件につきまして、御質問があればお願いいたします。

では学校教育課のほうに移ってよろしいでしょうか。

では、学校教育課お願いいたします。

渡辺課長。

学校教育課長 渡辺 義征

はい、学校教育から大きく4点御報告をさせていただけたらと思います。

(1)から(4)と書いてございますが、最初にですね(3)のmineto×SFC合宿について御説明をさせていただければと思います。

画面のほうも見ていただければと思います。

7月28日から30日、秋吉台国際芸術村におきまして今年初めての取組でございますがmineto×SFC合宿というのを開催をさせていただきました。

冒頭の教育長報告の中にもあったんですけども、山本委員さんのお子様にも御参加をいただきまして、無事3日間を終えることが出来ました。

子供たちはですね、当初8人、参加生徒が8人ということだったんですが。

その中で、美祢の子供が3人というちょっと少ない予定だったんですがさらに、ちょっと御家庭の御事情等がありまして参加者が7人になって美祢の子が2人という状況になりました。

今年実際やってみてですね、結構内容が固まるのにかなり時間を要してしまって、実際市内の子供たちに紹介するのが遅れてしまった、それから日程等もそれによって、お知らせするのが遅れてしまったという関係で、そういうことになったのではないかなあと考えてますが、中身としてはとっても充実したものになったのではないかなと思っています。

今見ていただいているのが、最後記念写真を撮ったときのものなんですが、この中に参加した子供たち、それから学生はですね16人参加をしてくれました。

で、大学のほうの先生が2人入って18人の方々と交流をして取り組んだというものなんですが、この最後の記念写真のところなんですがとってもいい表情をしていると思います。

それと当日は、先ほど教育長も申しましたが教育長も来てくれましたし、前教育長の中本教育長、見えますかね、何か丸してるので、分かるかとひと際背も高いので目立っているかと思いますが来てくださいましたし、前列のしゃがんでる、一番前列の左から3番目、どこかで見たことがあるかと思いますが、市長様にも来ていただきまして発表したところです。

ちょっと汚らしいシャツを着ている、何だこのペイントはと思うようなシャツを着ているのがですね、汚らしいと言ったら本当は失礼なんですけども、学生と子供たちで自分たちが思い思いのですねペイントをして、Tシャツをペタペタとやってみたりということでペイントしたものを着て活動する時のシャツなんです。

実際にやったことはですねストンプというものでございまして、内容的には自分たちの表現したいことを身の回りのあるもので、音を奏でてリズムをつかって表現をする、基本的にこう説明とかはしない、音とリズムとあと体を使って全身表現で表していく、そういう活動なんです。

ちょっと、今朝からいろいろ試して、何とかこのスマートフォンの中に入ってる写真とかデータをですね、送ろうとしたんですが、結局二つしか遅れていませんので、その二つのものを駆使しながら説明をさせていただいたんですが、動画も何とか送れたので一部、実際の発表したものも見ていただければと思います。

今日データを送ろうとしたんですが、このチームスというものを使わないと送れないということが分かって、東アジア全体でですね、今日、朝からチームスがほぼ動かないという状況がありました。

この発表は人の一生を表してみようということをテーマに説明をしていた

グループの発表なんです。

<全員でビデオを視聴する>

成長の過程で自分たちがいろんな部活動とかを体験している、そんなものを表現したり出したいということでこれを入れたようです。

参加した学生とか子供たちが、実際に自分がやっていた競技であったり種目であったりっていうものを取り入れたっていうのを後のお話の中で聞いたところでは。

これは、今歌を歌っている彼女は、静岡のほうの高校生で、こういう人前で表現するのが凄く苦手だったんだっていうお子さんだったんですが、最後の感想の中ででもですね、すごくこの合宿に参加をして、変わったんだっていうことを言ってくれていました。

この方は学生さんなんですけど、SFCの大学生なんですけれども、秋田県出身の方で、どうしても自分は子供の頃から表現活動をしたい、演劇のような活動をしていきたいっていうことをずっと思ってきたんですけど、周りからお前みたいな者がやってみようのか、成れるわけないって、ずーっと言われ続けていたんですけど、いろんな経験をしてバイトをしながらこうやってきて、今、SFC、慶應の大学に所属をして、実際にそういうタレント事務所みたいなところにもたしかこの子は登録をして、実際そういう活動も今されているっていうことを、最後いろんな発表する中で、そういった経験を、涙ながらに語ってくれて、頑張ってきてこうやって自分は今ここにいるんだ、そういうことをやってきてよかったっていうことを言ってくれて、学生にとっても非常にいい3日間になったかと思えますし、参加した中高生にとってもとってもいい3日間になったと思えます。

中学生が市内から2人って言いましたけれども、他県からも、たしか中学生はもう2人だったと思えます。

あとは高校生ですが遠いところ奄美大島からも来てくれてまして、本当子どもたちにも凄く良かったかなあというふうに思っています。

保護者として、感じられたところを少し、山本委員さんに語っていただければと思うんですが、一言お願いします。

委員 山本 亜由美

最初は娘に行ってみればと言っていたんですけど、全然乗り気じゃなくて、行かんと言っていたんですけど、三者面談の時、先生が紙をくれたんですね、その時は黙ってたんですけど、ある日、行こうかなって言ったので今だと思いきや夜中の内に心変わりしないうちメールを送って参加者になったんですけど、行

ってやはり知らない人ばかりだったので最初は気疲れみたいな感じだったようですが、精神的に鍛えられたと言って帰ってきて、その後も中村さんが後日中学校に訪ねて来てくれたみたいで、娘にとってはうれしかったみたいで、大学生と交流ができたことも彼女にとっては大きかっただろうし、見ず知らずの中で自分がここまでできるんだというのがいい経験になったんじゃないかなと思っているんですよね。

もし来年あったらどうするって聞いたらだれか誘って行ってみようかなって言っていたので、来年あれば仲間がちょっと増えて美祢の子がちょっと増えているんじゃないかと思っています。

来年もあれば是非参加させたいなと思っています。

貴重な体験ありがとうございます。

学校教育課長 渡辺 義征

こちらこそありがとうございます。

すいません突然振りまして、ありがとうございます。

本当、子供たちとってもよかったって言うてくれてもう1人参加してくれたお子さんもですね、実はお母様が強制的に申し込んだそうです。

お母様も来られて市の職員さんなので、「本人行きたい言いました？」って、お母さんに聞いたらですね、「そんな訳ないでしょう」と言われたんですけど、その男の子すごくシャイな感じのお子さんでminetoにも来てくれてるんですけども、minetoに居てもどっちかという、大人しい感じの子なんですけど、とっても楽しかったっていうふうに言っていたみたいで、大学の先生から写真を見せていただいたんですけど、東京のほうの男の子と、同じ部屋になって、コロナ禍なんですけどもうひつつきもつつきで部屋で過ごしてた、そんな3日間になったっていうことでとってもそういう違う世界の子供と交流が出来たっていうことが凄く楽しかった、本人にとってはいい経験になったっていうふうに聞いております。

先ほど、とっても少なかったっていう原因等も御説明させていただいたんですが、初めての試みでなかなかここまで行き着くのに、手間をとったんですが、成果っていうのがすごくあったというふうに信じております。

来年におきましてどういうふうになれば、この辺が解決をするのかということも検討していきたいと思っておりますし、mineto教育改革プロジェクトの四つの柱のうちの大きな柱の一本ですので、来年も是非、継続的に持続的にできるようにということで制度設計をしまして、準備していきたいと思っております。

そのために予算要望等も、かけていきますので御支援をいただけたらと思っております。

はい、続きまして、1番のほうに戻りまして2学期初めの学校の状況についてでございます。

本日から美祢市内の小中学校は、学校が始まったところです。

県内で今日から始まっているのが、宇部市と防府市でございます。

下関市は昨日からスタート、なぜ8月24日からかってどうも疑問なんですけども、下関は規則上8月24日からとしております。

県内で早くスタートする、市町はこの4市でございますので、ほかの市町については基本的に9月1日からということでスタートするかと思っております。

本日午前中に、ほとんどの学校で始業式をしまして順調にスタートをしたところでございます。

ただ、(2)に関わるようになりますけども、新型コロナウイルス感染症の状況が、若干学校関係にも影響を与えておる状況ではございます。

今お配りしましたマル秘という資料を見ていただいたらと思います。

夏季休業に入ったところから昨日まで、ですから夏季休業期間中に、市内の子供たちが、陽性又は濃厚接触者になった事案を全て掲載させていただいております。

これ見ていただきましたら陽性者、濃厚接触者、教員も入っています。

含めて、133人の子がこの夏季休業中に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けているということになろうかと思っております。

この中で、盆が明けてから陽性者になった子たちが本日も、まだ待機期間中ということで学校に出ることが出来ませんでした。

教員も中学校2名小学校1名がまだ待機期間中ということで、本日の段階でかなり的人数がやっぱり学校を欠けたような状況でスタートをしたところではございます。

ただ子供たちの中での重症化リスクっていうのは、低いようだという事は美祢市のほうも言えるかなと思っております。

今、子供たちの中で重症化したよとか、入院しなければならなかったよっていうような事案というのは基本的にはゼロでございます。

ほとんど、ほとんどというか、ほぼ全員だと思いますが、自宅待機っていうような形で療養をしているところです。

本日、小学校が17人陽性で出席停止の状況で、濃厚接触で休んでいる子が10人です。

中学校のほうで18人陽性で出席停止、24人が濃厚接触で休んでいるという状況でございます。

今日また新学期スタートをして、学校の中で感染が広がらなければなあというのを、我々も懸念をしております。昨日校長会をちょっと別件で開くことがございましたので、これらの感染対策をしっかりとやるようにということで改め

て指示もしたところではございます。

ただ、新しい取組が何かあるわけでもないのでこれまでの取組、3密を回避をして換気をしっかりしながら手指消毒、うがい、こういったことを励行していく、そして、密になる場面ではマスクをつけるということを徹底するというをお願いするというところでやっております。

学校行事につきましても基本的にはできるものはやっていくということをやってもらおうということにはしておりますが、2学期スタートして9月3日に中学校が運動会を4校ほど用意しておりました。

そのうち、伊佐中学校が保護者、学運協の皆さんと相談をして、10月1日に延期するということになりました。

残りの学校は、どちらにするのかっていうのはまだ協議中です。

状況を見ながら実施したいというふうなところもありますし、また状況によっては延期したいというところもありますが、それぞれ、学校・保護者・地域の方々との判断ということにしておりますので、一律にということはありません。

それから、小学校で1校だけ運動会を予定しております豊田前小学校、他の小学校は全て1学期実施をしておりますが、9月10日の予定で今のところはまだ動いております。

こちらにつきましては、宇部総合支援学校の美祢分教室と一緒に運動会をするということで秋に開催ということにしてありますが、こちらは今のところまだ実施の予定で準備を進めているところです。

はい、続きまして、(4)全国学力・学習状況調査についてということで、お話をさせていただければと思います。

本日配付資料で、左肩のところに非公開って書いてある冊子を出しただけならと思います。

現段階では非公開ではございますが最終的に分析をしまして、今後の対策も含めてというものについては、ホームページを通じて、公開をしたいと思っておりますので、現段階では皆様方お持ちいただいて一旦はちょっと表に出さないで置いていただけたらと思っております。

基本的には小学校中学校、昨年と大きくは変わってはおりません。小学校は、ほぼ全国平均、中学校については国語は全国平均、県平均を超えてるんですが、数学、理科が若干、県平均より低いというような状況が続いております。

中学校につきましても、全国平均・県平均より低い状況ではありますけれども、全体的には全国平均県平均に近づきつつある、少しずつ上昇傾向になっているというところがございます。

2枚目以降に今年各教科の度数分布、それから昨年の度数分布と並べて比較ができるようにしたものも付けております。

詳しくは、また、お帰りになって御覧いただけたらと思うんですけども、こちらのほうを見ますと、上位の子が、少し下位に下がっている。

中位の子が下位に下がっていて、全体の正規分布から比べると山が2コブのような形、美祢市の各教科の分布を見たときにそういう傾向が、どの教科においても見られるのではないかと考えています。

平均には近づいているとか平均を超えてはいるんですが、そういう分布の中で、本来あるべき分布の位置にいる子たちがずれた位置にいるっていうようなところが課題ではないかと考えています。

これらを解決するためにはやっぱり、一斉授業ではもう難しい。

一斉授業で、ばらつきの大きい子たちに授業をやっていくっていうのは難しいと思っています。

そのための一つの手立てが自由進度学習ということで子供たちが授業の中で、いろんな手だてを選択して学習を進めていく、子供が自分のペースで学びを進めていく、それを教師がサポートしていく、こういった、学びを指導主事が各学校で、是非取り組んでほしいということで、今、広めているところでもございます。

こういった取組等も取り入れながら、それらの課題を解決していけるように2学期以降も取り組んでいきたいと考えております。

詳細の分析が出来次第また、この教育委員会会議のほうでお示しをして、お話しはしていきたいと思っています。

はい。それから最後になります。

4番までのものとちょっと違うところになりますが、一つ連絡事項でございます。

minetoの活動をいろいろ、多方面に紹介をさせていただいたりということをしているんですが、その中で、村岡県知事のほうが、是非、minetoの活動を見たいということをお申し立てして9月7日の水曜日、詳細の時間はまだ、調整中ではございますが、9月7日の水曜日に、minetoのほうに実際に来られて、子供たちの様子、塾の様子、授業の様子を、見られるということが決まっております。

塾長の瀧中君が県知事と語る会っていうところに美祢の代表で、地域おこし協力隊の中で選ばれて行ってそこで知事とお話をする中ですごく興味を持たれたということで来られるということが決まっております。

またいろんなところで、こういった活動を取上げていただいて、美祢の特徴としてですね広まっていけばと思っていますし子供たちも、自分たちのやることが自信を持って、さらなる取組の広がりになっていけばなと思っています。

少し長くなりましたが、以上で説明を終わります。

教育長 南 順子

ありがとうございました。

今、学校教育課から報告がございましたが御質問等があればお願いいたします。

教育長 南 順子

よろしいでしょうか。

はい、それでは続きまして、生涯学習スポーツ推進課、お願いいたします。

生涯学習スポーツ推進課地域活動推進班長 野尻 登志枝

はい、それでは生涯学習スポーツ推進課から、4点ございます。

まず1点目ですが、今年度、新規事業として、mineto子どもキャンプを7月25日から28日の4日間開催いたしました。

その件について、内山班長より報告をいたします。

生涯学習スポーツ推進課人権教育班長 内山 知憲

mineto子どもキャンプの様子についてMYTが取材に来ておまして、その取材の映像といいますか、本来は1回の放送で全て放送される予定だったんですけどもその内容が多くて前編後編に分かれてということでこの度、8月18日と23日に、前編が放送されましたのでこちらの映像をもとに事業の紹介をしたいと思います。

ただ、40分弱ありますので、かいつまんで紹介したいと思います。

<全員でビデオを視聴する>

私もグループカウンセラーで参加をしましたが、この対等というのがすごく大事ななと思いました。

グループというふうに呼ぶんですけども、チームであればそれぞれの役割があってリーダーがいたりサポートする者がいたりというのがあるんですけども、このグループというのが、それぞれが対等であるということで、そのメンバー全員にとって居心地のいい集団であるということ、これがすごく大事ななと感じました。

そのための唯一のルールが、先ほど示された「自由、自分を大切に、相手を大切に、みんなを大切に、同時に」というこれをこのキャンプを通してどれだけ心がけてグループが出来ていくかというのがこのキャンプの一番の大事なところであるなど。

恐らく、この放送の最初の表情と最後の子供たちの表情はもう全く違う表情になっていると思いますので、また、後編の放送のときにはその辺りも見ていただきたいと思います。

<全員でビデオを視聴する>

先ほど、今見ていただきましたのが、ビーイングという活動でグループが、自分たちのグループが、よりよいグループになっていくために大切にしたいこと、心がけたいことを、文字にして残していくと。

これがずっと活動の最後まで、プログラムの前後でグループの活動の目標にしたり、振り返りに使ったり、そういった形で旗づくりでビーイングという活動が続いていきますけどもこれがこのキャンプの本当メインのプログラムであるなというふうに感じました。

ただグループがいろんな形に変化をしていくんですが、グループカウンセラーとして、そのグループの方向づけをするのがすごく難しいなというふうに実感をしました。

最後の振り返りで僕自身、ちょっと不完全燃焼だったところとか、もっとうまく出来たらよかったなと思うところもあったんですけども、そういった意味で、教員の研修といいますか、にとってもすごく意味のあるものだと感じました。

<全員でビデオを視聴する>

すいませんちょっと何回も止めてしまうんですけども、正しい火のつけ方を知らなかったっていう人もいたかもしれないんですけども、大人がこうしてああして、こうすればいいですよっていうふうに言った方法で成功したとしても、それはやっぱり子供たちにとっては何も考えなくてもいいと、要は大人の言うことを聞いておけばいいんだという、経験にしかならなくて、このように自由にやっていいよと、その中で失敗したり、ほかの人の意見を聞いたりしながら、最後には火をつけることが出来たというこの経験がすごく大切なんだというふうに思いました。

映像を見ていて僕はやっぱり手を出し過ぎてしまってるなって、自分でちょっと反省をしてしまったんですけど、ついついやっぱり教えたくなくなってしまう、これやっぱ教員のいけないところだなというふうに思いました。

<全員でビデオを視聴する>

はい、こちらは保護者アンケートの結果なんですけれども、今のところ19

名の方に御回答いただいておりますが、参加させていかがでしたかという質問で、90%の方が参加させてよかったというふうに答えておられます。

やっぱり子供の変化ですね、帰ってきたときの子供の様子からそういうふう感じたという方がほとんどでした。

「来年度もまた、mineto子どもキャンプがあれば参加させたいと思われませんか」という質問についても90%の方が、是非、また参加させたいというふうに答えられています。

こちらがその理由です。

この保護者アンケートを見て思ったことなんですけれども、保護者への説明をしっかりとやっぱり行わなければいけないなというふうに思いました。

キャンプのアクティビティですね、プログラム自体に魅力を感じておられたという方、例えば野外炊事とか、先ほど言った火のつけ方であったりとか、そういったことをもっと詳しく教えて欲しかったというふうな御意見もいただいているんですけれども、このキャンプの目的は自己決定、グループをつくっていくという力を育てる、そこが1番の目的でしたので保護者への説明をしっかりとしなければいけなかったなというふうに思いました。

で、こちらのキャンプにも、山本委員さんのお子さんに参加をしていただいておりますけれども、山本さんの御意見も、また教えていただきたいと思えます。

委員 山本 亜由美

このキャンプは、私が行かせたくって、もう子どもに内緒でチラシをもらってきたのと同時に申し込んで、抽せんに当たった後に子供に言ったんですよ。

抽せんに当たったよ、どうするって、もうこの世の終わりのような顔をして何で当たったんだと、彼はちょっと泣きそうな顔だったんですけど、行く日まで本当にもう、何で俺が行かないといけないんだみたいな感じだったんですけど、でも実際行ったらすごい楽しかったみたいで、迎えに行っても帰るよって言ったときには、いやまだちょっとキャンプやりたいんだと。

もう帰りたくないんだと、いうことだったんでもう本当よっぽどよかったんだろうなと思って、次の日から、きっと彼はちょっと変わって、何かシャキシャキ動いてくれるんだろうなって期待してたんですけど、そこはちょっと期待外れでいつもどおりの彼でした。

あと何日かあったらちょっとシャキシャキ動けるようになったのかなと思ったんですけど、でも、ロープの結びかたとか、絶対家だと教えることはないのですごくいい勉強をしたなと思うし、その話を弟と子供がしたら、今2年生なんですけど、じゃあちょっと来年自分も行きたいんだというのでちょっと来年もちょっと申し込んで抽せんに当たったらいいなと思ってます。

すいませんありがとうございました。

生涯学習スポーツ推進課人権教育班長 内山 知憲

頭の片隅に僕は自由というのが少しでも残っていてくれたら一番だなと、自分を相手をみんなを大切にと、シャキシャキ動くところは、また是非機会がありましたら、はい、よろしくお願いします。

すいません長く時間とりました。

mineto子どもキャンプについては以上です。

生涯学習スポーツ推進課地域活動推進班長 野尻 登志枝

はい。続きまして、2点ほど行事について御説明いたします。

市民ナイターソフトボール大会ですが、9月1日から開始をいたします。

約2週間程度を予定しております。

参加チームにつきましては、一般の部が9チーム、女子の部が2チームの申込みがありました。

3番目の、山口県立大学美祢市サテライトカレッジについてですが、御手元にチラシを配布しております。

今年度は、今週、土曜日の8月27日、9月3日、9月10日に3日間に分けて、開催をいたします。

20名を超える、参加申込みがございました。

最後に、昨日行われました8月臨時会、補正予算を生涯学習スポーツ推進課として2件ほど提出して、おります。

まず1点目ですが、電子図書館の内容を充実させるための補正予算200万円を計上しております。

これは本年7月1日から、電子図書館をオープンしておりますが、市内児童生徒を中心に電子図書館の利用が多いことから、電子図書館を充実させるものであります。

利用につきましては、小中学生につきましては全員にIDとパスワードを付与しておりますが、直近の先週金曜日現在なんです約74%の子供たちが利用しております。

2点目ですが、宇部サント美祢球場の審判室と、身障者用の観覧室のエアコンを新規で設置するものです。

これにつきましては82万円を計上しております。

以上です。

教育長 南 順子

はい、ありがとうございました。

今、生涯学習スポーツ推進課からの報告がございましたが御質問等がありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

はい、それでは続きまして文化財保護課お願いいたします。

神田課長。

文化財保護課長 神田 高宏

はい、それでは文化財保護課のほうから、秋吉台保存活用計画説明会について御報告させていただきます。

先ほど、教育長の報告でもございましたが、保存活用計画は秋吉台を保存しつつ活用していく、特に活用のための手続を簡素化しようというふうな計画となっております。

説明会は、8月22日に、14時からと18時からの2回に分けて、こちらですねこちらのリーフレットのほうを使って説明のほうさせていただきました。

参加者は合計で30名、またウェブでの参加が5団体となっております。

続きまして特別天然記念物秋芳洞再生事業市民説明会と、第2回特別天然記念物秋芳洞再生事業評価委員会について御報告いたします。

こちらちょっと資料のほうはございませんが、特別天然記念物秋芳洞内の照明植生の対策の事業となっております。

今回の委員会では対策を実施する箇所、手法等を確認して、その後、市と市の観光部局と連携して、対策を実施していくこととなります。

9月の8日に市民説明会を行いまして、9月9日に、再生事業評価委員会を開催することとなっております。

文化財保護課からは以上となっております。

教育長 南 順子

ありがとうございました。

今の文化財保護課からの御報告について、質問等がありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。じゃあ、引き続きまして、世界ジオパーク推進課、お願いいたします。

神田課長。

世界ジオパーク推進課長 神田 高宏

はい。それでは世界ジオパーク推進課から、第7回アジア太平洋ジオパークネットワークシンポジウムについて御報告いたします。

来月9月7日から9月10日ですが、タイのサトゥーンっていうところで開催されます。

こちらにですね、ジオパーク推進課の国際交流員であります、ジョアナが参加いたします。

今回のシンポジウムでは、美祢青嶺高校の生徒がオンラインで、美祢市のジオパークを紹介することとなっております。

ジョアナは現地で美祢青嶺高校のサポートの他、アジア太平洋ジオパークネットワークの加盟ジオパークとの交流、特に同じカルストのジオパークであります、ベトナムのドンバンユネスコ世界ジオパークとの情報交換等も行う予定としております。

それとですね、ちょっとここには記載はございませんが、夏休みのジオパークのイベントについて2件ほど御報告させていただけたらと思います。

一つ目は、自分だけの石図鑑をつくってみようというイベントですが、こちらは、自宅から石を5つ程度持ってきて、その石を専門家が鑑定し、石の標本をつくるという自由研究に最適なイベントとなっております。

こちらは、8月の2日から3日、美東センター、秋吉公民館、市民会館で行い、合計25名の参加がございました。

こちらはですね子どもも非常に満足したイベントでありましたし、親も非常に助かったイベントであります。

二つ目が、自由研究はこれだ2022植物化石・昆虫化石の世界というイベントです。

実はですね、美祢市は世界でも稀に見る昆虫化石を多く算出する地域であります。

こちらは、8月13日に、植物化石堆積学、昆虫化石、また現在の昆虫の専門家をお招きいたしまして、小中学生を対象に講義と歴史民俗資料館、化石館にして展示してございます化石観察を行いました。

子供たちは、実際の化石を見ながら、専門家の話を聞くことが出来て非常に満足した様子でした。

こちらのほうは、定員であります、15名いっぱいになったところです。

今後も、このようなイベントを実施していきたいと考えております。

以上でございます。

教育長 南 順子

ありがとうございました。今の世界ジオパーク推進課からの報告につきまして、御質問があればお願いいたします。

それではないようでしたら、報告については以上で終わりたいと思います。

教育委員からの提案及び意見

教育長 南 順子

では、続きまして、教育委員の皆様方から御意見や御提案等がありましたら承りたいと思います。

何か今までの報告等を聞かれて、又は、それ以外のことでも結構でございますので、御意見等がありましたら、よろしく願いいたします。

すみません、大変時間が長くてあれでございますがいろいろ資料等につきましても、御質問等があれば、一緒に承りたいと思います。

よろしいでしょうか。

それでは次の9月の教育委員会会議の開催予定について、八木下教育次長お願いいたします。

9月の教育委員会会議の開催予定

教育次長 八木下 理香子

今回の教育委員会会議は、9月26日の月曜日の14時からここと同じ会場の本庁3階の委員会室で開催したいと考えております。

以上です。

教育長 南 順子

はい、それでは今、説明がありましたように、今回は9月26日月曜日2時からということで、また、御出席の方、お忙しい中申し訳ございませんがよろしく願いいたします。

<全員了承>

教育長 南 順子

大変お疲れでございました。

以上で教育委員会会議は終了いたします。

(午後3時45分終了)

令和 年 月 日

教育長

委員

委員

会議録作成